

イネ科通信 37

トキワススキ

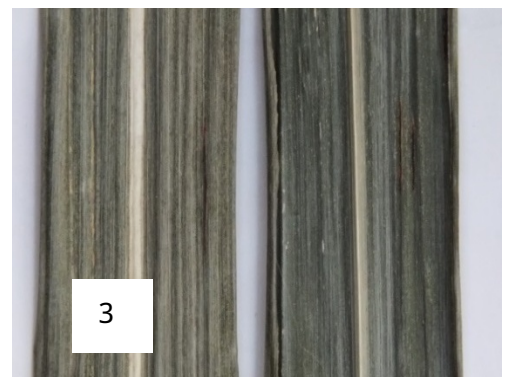
2014/07/20

ススキによりも花期が早く全体に大きくなります。花序の中軸は長くて(30~50cm) 総は多数、全体に散らばって出ます。小穂はススキ(5~7mm)より小さく、長さ約5mmです。基毛は小穂より長く、長さ4~6mm。開花初期は花序が紫色を帯びていますが、次第に褐色に変わります。

(1)の写真は花期のトキワススキです。ススキに比べて花期が早く7~8月です。(2)の写真は総の一部



です。写真ではわかりにくいですが、柄の長い小穂と柄の短い小穂が対となってついています。芒は曲がっています。穎果の下から基毛が伸びています。



写真(3)は葉身の一部で左が表面、右が裏面です。中央脈は裏側へこんでいます。葉身の幅は15~35mmです。へりは花期にはひどくざらつきます。

ススキは花序の中軸は短くて総の大部分が束にまとまってでるように見えるのに対して、(写真4)トキワススキの花序は長く、花序の中軸は長くて総は全体に散らばっています。